

～ご参加の皆さまへお願い～

- 市内探訪では、集合から解散まで統一行動となっています。
- 歩行中は一列又は二列で歩き、道路横断時などは交通安全に十分気を付けてください。
- 急坂、石段などありますので、足元に注意してください。
- 昆虫や植物などは採集しないで、カメラやスケッチに収めてください。
- 地元の方々のご理解・ご協力をいただき、神社や寺院などに伺いますので、失礼のないように注意してください。
- 弁当や菓子などのゴミは、各自お持ち帰りください。
- 記録写真を撮る場合がありますので、ご了承ください。
- アンケートを取る場合がありますので、その時はご協力ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用・検温等にご協力ください。



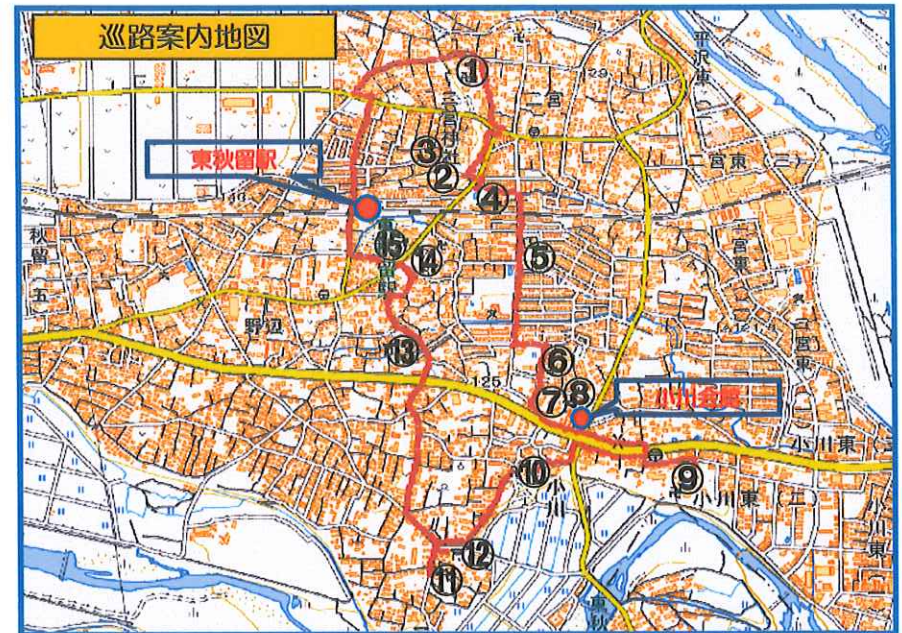
私たち市民解説員は、ふるさとあきる野を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、これらを市民の皆さまや市外から訪れる方々に紹介し、まちづくりと生涯学習の推進を図る学習ボランティアです。あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆さまと一緒に学びあい、活動できることを嬉しく思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

企画・実施 担当市民解説員
神田 武・桜井富美子・田野倉全
松本規久子・小熊孝彦

東京文化財ウィーク2021・あきる野市参加企画事業

市民解説員が案内する市内探訪

「東秋留地区の文化を訪ねて」 ～二宮・小川・野辺を歩く～



探訪巡路

JR東秋留駅前集合(8:50) ☆⇒①玉泉寺⇒②二宮神社⇒
③二宮考古館☆⇒④お池⇒⑤前田耕地遺跡⇒⑥林泉寺⇒
⑦森田家住宅⇒⑧小川熊野神社⇒小川会館・昼食☆⇒⑨法林寺☆⇒
⑩宝清寺☆⇒⑪慈眼寺⇒⑫小川久保熊野神社⇒⑬八雲神社☆⇒
⑭新開院薬師堂⇒⑮普門寺⇒JR東秋留前着。アンケート回収。解散

令和3年11月10日
あきる野市 中央公民館

探訪場所の簡単な解説

参考資料：秋川市史・無漏西游他

① 鷲峰山 玉泉寺 (天台宗)
所在地：あきる野市二宮2265番地
創建：江戸初期に平井川べりの屋敷にあった。
開基：不詳
開山：1世栄耀(年代不詳)
本尊：阿彌陀如来、脇侍の観音・勢至菩薩
元禄8年(1695)河野傳左衛門寄進
建物：本堂・山門・鐘楼
(元禄4年、4世詮海の時に移築)
寺紋：信州善光寺のものと類似しているが、一時別院の役割を果たしていたと云う。
未印地：20石
お十夜：戦前迄は10月13日から15日まで縁日が立った。鉦張り念仏は、珍しい行事で二宮の講中により行われていた。
見所：市指定天然記念物のエノキ
その他：東秋留小の前身、二宮学校があった。

② 都指定旧跡 二宮神社
所在地：あきる野市二宮2252番地
祭神：国常立尊(くにとこだちのみこと)
由緒：起源は相当古く、小川大明神(多摩郡小川郷の鎮守)と称し、平安時代、總社の制が生まれ、武蔵の国府・府中にある大國魂神社が六所大明神と呼ばれ、その二宮として選ばれ、二宮大明神と称した。明治3年二宮神社に改称。
沿革：天慶2年(939)藤原秀郷が平将門追討の戦勝祈願。その後源頼朝、北条氏政、北条氏照の祈願所となる。天保8年(1837)火災により記録等焼失。
朱印地：徳川家康より15石
市指定有形文化財：本殿・宮殿・算額絵馬

③ 二宮考古館
所在地：あきる野市二宮1151番地
開設目的：二宮森腰遺跡から出土した考古遺物を中心に市内の考古資料を展示し、市民の郷土の認識を高め、歴史の理解と文化の向上を図るため。
開設時期：平成2年(1990)8月6日
敷地面積：991.2㎡
建物配置：337㎡ 展示室・ホール・収蔵庫
主な展示内容：
旧石器時代：槍先形尖頭器、縄石刃核・同刃
縄文時代：撚糸土器、深鉢、獣面把手土器、有孔鍔付土器、片目顔面把手土器
弥生時代：前田耕地遺跡土器写真パネル
古墳時代：直刀、甕、甌、土製支脚、紡錘車
奈良・平安時代：甕、須恵器、坏
中世：瓦、金銅仏薬師如来像、一字一石經

④ 二宮神社お池
所在地：あきる野市二宮1189番地
現況：二宮神社大鳥居下の道路の東側に位置し、池は南北に長く、水は池の南西隅より湧き、水量豊富で干ばつが続いても涸れたことがないと云われる。
伝承：日本武尊が東征の折、水がなく将兵大いに渴いたため、この地に水国の神靈、国常立尊を祀ったところ、たちまち水が湧き出したと云われる。
池の中の彫像は、菅野遊邦作のもので、その場所、昔は、雨乞いの儀式が行われたと云う。
おしゃもじ様：池のそばにある社宮社。
祭神は、石凝姥命(イソノメノミコ)。風邪に靈験があるとおしゃもじ奉納。
見所：市指定天然記念物のフジとヤナギ

⑤ 都指定史跡 前田耕地遺跡
所在地：あきる野市野辺1-1番地外
現況：多摩川支流の秋川と平井川に挟まれた段丘上に位置し、昭和51年~59年の間発掘調査が行われた。
調査結果：縄文時代草創期を中心とした縄文集落が確認された。
*草創期の2軒の住居跡の1軒からは、クマなどの動物の動物の骨とともにサケ科の顎歯約8千点が出土し、河川における漁撈活動を初めて証明。
*河原にある良質なチャートから石槍などを大量に制作した地点が6か所発見され、その製作過程が判明した。
公園展示：*縄文時代中期の柄鏡型石住居跡
*弥生時代末期の竪穴住居跡
遺跡年代：最近の研究により、13000年前から15500年前に判明

⑥ 天寧山 林泉寺 (臨済宗建長寺派)
所在地：あきる野市小川650番地
創建：正安元年(1299)大隅土佐守建立と云う(小川土佐守ではとの説あり)
開山：普門寺2世義堂可礼禪師(応永21年<1414>寂)
「新編武蔵風土記稿」では開山を伝えずと云う。
本尊：如意輪観世音菩薩
建物：平成3年に再建

⑦ 国登録有形文化財 森田家住宅
所在地：あきる野市小川633番地1外
登録：平成25年(2013)12月24日
名称：森田家住宅主屋、同見世蔵、同前の蔵、同味噌蔵、同西蔵、同旧米蔵、同御看經堂(おかんきんどう)、同門、同住宅塙の9建造物
特徴：森田家は近世に名主を務め、酒造も手がけていた。主屋正面中央の唐破風造りの玄関は、正面に二重虹梁を組む本格的な形式。持仏堂である御看經堂は、土蔵平屋建てで、内部の手前が三畳の拝所、後方を仏壇構えとして虹梁をかける。私邸に残る近世の持仏堂として貴重。

⑧ 小川熊野神社
所在地：あきる野市小川639番地
祭神：伊邪那美神(いざなみのかみ) 速玉之男命(はやたまのおのみこと) 事解之男命(ことさかのおのみこと)
由緒：創建年代不詳
建物：宝永5年(1708)社殿修復 寛政6年(1794)社殿再建
沿革：紀州熊野の熊野三社を勧請したので、昔は熊野三社大権現と呼ぶ。明治2年 熊野神社と改称
見所：市指定天然記念物のケヤキ

⑨ 神應山 法林寺 (臨済宗南禅寺派)
所在地：あきる野市小川東2-12-10番地
開創：延喜12年(912)
開基：安成院満慶(朱書した木札から判明)
開山：不詳
本尊：聖観世音菩薩
沿革：応永年間(1394~1428) 八王子山田町の広園寺を創建した法光円融禪師(峻翁令山)により再興 中興開基は八王子片倉城主・大江道広 延宝年間(1673~1681) 火災により、古来の記録悉く焼失
朱印地：25石
見所：*「痾病菩薩」を記るの山門脇お堂 *境内の土壘→中世怒号の居館跡か? *達磨大師坐像→鎌倉八幡宮より遷座
その他：市指定天然記念物のシラカシ

⑩ 水谷山 宝清寺 (日蓮宗)
所在地：あきる野市小川101番地
創建：元和年間(1615~1624)
開基：青木勘左衛門
開山：法清院日徳上人
本尊：一塔両尊四土(塔中の妙法蓮華經の左右に釈迦牟尼仏・多宝仏・四菩薩)
沿革：*甲州武田の一族青木勘左衛門は、徳川家康に見い出されこの地を賜り、故郷の甘利郷(韮崎市)にあった東照山教林寺をこの地に移し、東照山法清寺と号し、創立した。
*宝永年間(1704~1711)領主水谷信濃守が山号を東照山から水谷山へ改める。
*「新編武蔵風土記稿」に「寺地は往昔小川土佐守の居宅の跡なり」と云う。

⑪ 大光山 慈眼寺 (臨済宗南禅寺派)
所在地：あきる野市小川484番地
創建：応永7年(1400)
開基：大江氏と云うが定かでない。大江氏は法林寺の中興開基大江道広の一族で、片倉城を中心に八王子南部地域に勢力を振るった。
開山：法林寺3世輪光琦禪師
本尊：聖観世音菩薩
沿革：「新編武蔵風土記稿」では、「小名久保 民家三十二軒すめり」といい、現在の檀家数も30数軒とのこと。

⑫ 久保熊野神社
所在地：あきる野市小川470番地
祭神：伊邪那美神(いざなみのかみ)
由緒：創建年代不詳だが、古者の口碑では元和年間(1615~1624)に創建 寛文年間(1661~1673)に再建
*昭和49年 火災で全焼
*昭和59年 再建
市指定有形文化財：伊奈石製の五輪塔 「応永7年10月9日」と「浄林禪門」の刻字

⑬ 八雲神社
所在地：あきる野市野辺316番地
祭神：素戔鳴尊(すさのおのみこと)
由緒：創建は長禄年間(1457~1460) 祇園牛頭天王社を勧請したと云う。
沿革：*明治維新の神仏分離令に際し、八雲神社に改称。
*昭和49年 火災で全焼
*昭和59年 再建
市指定有形文化財：伊奈石製の五輪塔 「応永7年10月9日」と「浄林禪門」の刻字

⑭ 寿域山 新開院 (臨済宗建長寺派)
所在地：あきる野市野辺435番地
創建：長禄元年(1457)と云う。
開基：不詳
開山：普門寺8世菊隱英和尚(長享2年没)
準開基：北条氏康(元龜2年没)
本尊：大日如来
新開院 薬師堂
*本尊の薬師如来及び日光・月光両菩薩・十二神将を安置。
*鶴岡八幡宮薬師堂に安置されていたが、明治維新の神仏分離令の際に、鎌倉の寿福寺に遷座され、明治中頃当院に遷座された。
*目の病に靈験ありとして「穴明き石」を奉納

⑮ 神護山 普門寺 (臨済宗建長寺派)
所在地：あきる野市野辺450番地
創建：文永6年(1269)北条時宗と云う
開山：南北朝→室町の時代 心源希徹禪師(応永10年<1403>寂)が再興
本尊：十一面観世音菩薩
朱印地：10石
建物：本堂 安永3年(1774)に焼失 安永6年(1777)に再建
鐘楼 平成9年に落成
沿革：*当初は、鎌倉の寿福寺末であったが、明治初年に建長寺末となった。
*末寺数13か寺も現在は5か寺のみ。